

■東京五輪目前！ 開発が進む有明地区

有明通りを渡って西側へ。ここでも土木の施工が展開されていました。ここ「有明アーバンスポーツパー

更に西に向かうと紅葉に色づき始めた木々が繁茂する一画に行き当たりました。コンサート、イベントの会場として有名な有明コロシアムを内包する国内屈指のテニスの聖地「有明テニスの森公園」です。周囲の喧騒から隔たれ、清々しい空気に満ちています。たまたまトーナメントが開催されていて、テニスボールの



A black and white photograph of the Wimbledon Tennis Centre. The image shows a wide-angle view of the stadium seating, which is arranged in a semi-circular pattern around the tennis court. The court is visible in the foreground, and the Wimbledon Tennis Centre logo is visible on the back of the stadium seating. The image is taken from a high vantage point, looking down at the court and the seating.

有明テニスの森公園内に新しくつくられたテニスのショーコート。

お台場の商業施設より東京湾側を望む。レインボーブリッジ手前の木々が
生い茂るところが品川台場跡で、ビーチから地続きなのが第3台場だ。





左／有明アーバンスポーツパークは絶賛造成中。五輪の際は自転車競技のBMXレーシング、BMXフリースタイル、スケートボードが実施される。
上／有明JCTの直下を走る国道（湾岸道路）は交通量がとても多く、特に大型車が目立った。

打音が軽やかに響いていました。

テニスの森の隣にあるUFOの母船の建物は「東京都虹の下水道館」。体験型の展示で東京が誇る世界屈指の下水道システムを学ぶことができます。週末は工作イベントなどのアトラクションが目白押し。家族で楽しめるスポットとしてもお勧めです。

虹の下水道館を背に湾岸道路を渡ると台場エリアです。その前に、上空を見上げると首都高の有明ジャンクション。美しく弧を描く桁が優雅に交差する様はなかなかの土木フォトジェニックです。カメラに自信のある方はぜひトライしてみてください。

■台場エリアは最先端の情報発信基地？

有明JCTをくぐってすぐ、大学のキャンパスを抜けると、右手に延びているのが「夢の大橋」。有明と青海地区を結ぶ長さ360m、幅は広いところで60mにもなる歩行者専用の橋です。その広大さは、橋というよりはもはや広場。あのTVコマーシャルや、例のドラマで見たことがあるような…。路面には写楽の役者絵や江戸名所絵図がはめ込まれており、これを眺めて回るだけでも楽しい気分になります。東京五輪の聖火台の一つはこの夢の大橋に設置される予定です。

その先が、ゆりかもめのお台場海浜公園駅、りんかい線の東京テレポート駅です。周辺にはフジテレビ本社やダイバーシティ東京をはじめとする商業施設や、イベントホールが軒を連ね、情報発信拠点として確立しつつあるエリアです。ランチタイム、ディナータイムのフードエリアは大変な賑わいで、東京港を見渡しながらいただく食事は格別です。

レインボーブリッジを見上げる台場公園は江戸期の

軍事要衝。この第3台場は地続きになっており徒歩で上陸可能です。当時の石垣や火薬庫の基礎石が残されており、江戸期の土木の息吹に触れることができます。

人工海浜のお台場ビーチは、高層ビルを遠望する白い砂浜。近未来的なリゾートというか、少し不思議な気分にさせてくれます。水上バスの駅にもなっており、ここから対岸の芝浦、浜松町方面にアクセス可能。復路はつかの間の船旅。東京湾の潮風に吹かれながらのんびりと戻ってきました。



有明地区とお台場地区を東西に結ぶ夢の大橋。日本最大級の歩行者用の橋だ。五輪では、この有明側に聖火台が置かれる予定だという。

